

令和4年版 消防年報



人吉下球磨消防組合

は し が き

この年報は、人吉下球磨消防組合の令和3年度中における消防業務に関する諸般の状況を収録し、将来の消防行政運営に広く活用していただくための資料として編集したものです。

なお、内容については、主に令和4年4月1日をもって収録しており、一部これらによらないものについては、当該各表に年月日を記載しています。

令和4年8月

人吉下球磨消防組合消防本部

◆ 目 次

◆ 一目統計

○ 消防の現況

◆ 管内の概要、管内面積・人口及び世帯数	1
◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地	2
◆ 構成市町村の概況	3
◆ 令和3年度の主要行事	5
◆ 消防の沿革	11
◆ 消防組合の組織	16
◆ 消防本部及び署の組織	17
◆ 消防本部及び消防署の事務分掌	18
◆ 職員の配置状況と階級別現員	22
◆ 勤続年数別職員数	23
◆ 年齢別職員数	24
◆ 消防予算	25
◆ 職員の教育実施状況	26
◆ 職員の特殊技能・資格取得状況	27

○ 消防活動

◆ 消防用車両配置状況	28
◆ 消防用特殊資機材保有状況	29
◆ 消防水利	31
◆ 救助業務	32
◆ 火災統計	34
◆ 救急統計	37
◆ 通信関係	42

○ 予防業務

◆ 防火対象物現況	47
◆ 管内中高層建築物現況	48
◆ 消防法令に基づく各種届出、防火管理者講習会実施状況	49
◆ 建築物の同意件数、危険物施設・規制事務状況	50

○ 消防団 幼少年消防クラブ

◆ 消防団の組織及び現有勢力、年齢別及び在職年数別消防団員数 . . .	51
◆ 幼年消防クラブの現況	52
◆ 保育園防火クラブ・少年消防クラブの現況	53
◆ 全国統一防火標語	54

◆ 一目統計

令和4年4月1日現在

自然環境

人口・世帯



管内面積
971.82km²



気象
年平均気温 16.5℃
年間降水量 2730.5mm



人口
52,607人



世帯数
23,670世帯

消防予算

構成・人事



消防予算
13億7,206万円



署所
消防本部 1
署 1 分署 4



職員数
定数 111人
実数 110人



消防団員数
定数1,863人
実数1,474人

機械・施設



消防車等
タンク車 7台



特殊車両等
はしご車 1台
救助工作車 1台
重機 1台
重機搬送車 1台



救急車等
高規格救急車 7台
その他車両 21台



消防水利
消火栓(基準) 575基
消火栓(基準外) 637基
防火水槽 902基

火救 災急 救 助

(令和3年統計)



火災件数 30件
死者 0人
負傷者 4人
損害額11,735(千円)



救急出動
出動件数2,796件
搬送人員2,629人



救助出動
出動件数 34件
活動件数 20件



その他出動
出動件数 231件
捜索 4件

予 防



防火対象物数
2,620件



危険物施設数
製造所 1件
貯蔵所 119件
取扱所 85件



防火対象物定期点検
報告制度
特例認定事業所 3件
定期点検報告事業所56件



防火クラブ
幼年消防 24団体
少年消防 1団体

消防の現況

◆ 管内の概要

人吉下球磨消防本部は、熊本県の最南部人吉市の、東経 130 度 44 分9秒、北緯 32 度 13分0秒に位置し、人吉市、錦町、相良村、五木村、山江村、球磨村の 1 市 1 町 4 村をもって構成しています。

地理的空間は、南九州の三県庁所在地（鹿児島市・宮崎市・熊本市）のほぼ中心に位置し、南は宮崎県と鹿児島県に隣接する広大な山地を有する盆地であり、国見岳、市房山を主峰とする山塊に囲まれ、これらの山岳から集まった水は日本三大急流の一つ清流「球磨川」をなし、人吉盆地を貫流し、延長 100 キロメートルの流域を経て八代湾に注いでいます。

当消防組合管内は、南北に貫く九州自動車道があり、八代 IC と人吉 IC の区間は 1989 年に開通し、IC 区間で日本一長く、九州で最長のトンネル「肥後トンネル」と熊本、宮崎を跨ぐ「加久藤トンネル」を含んだ「えびの～八代間」を上下線方式により管轄しています。また、令和元年8月には人吉 IC とえびの IC の間に「人吉球磨スマートインターチェンジ」が開通しました。

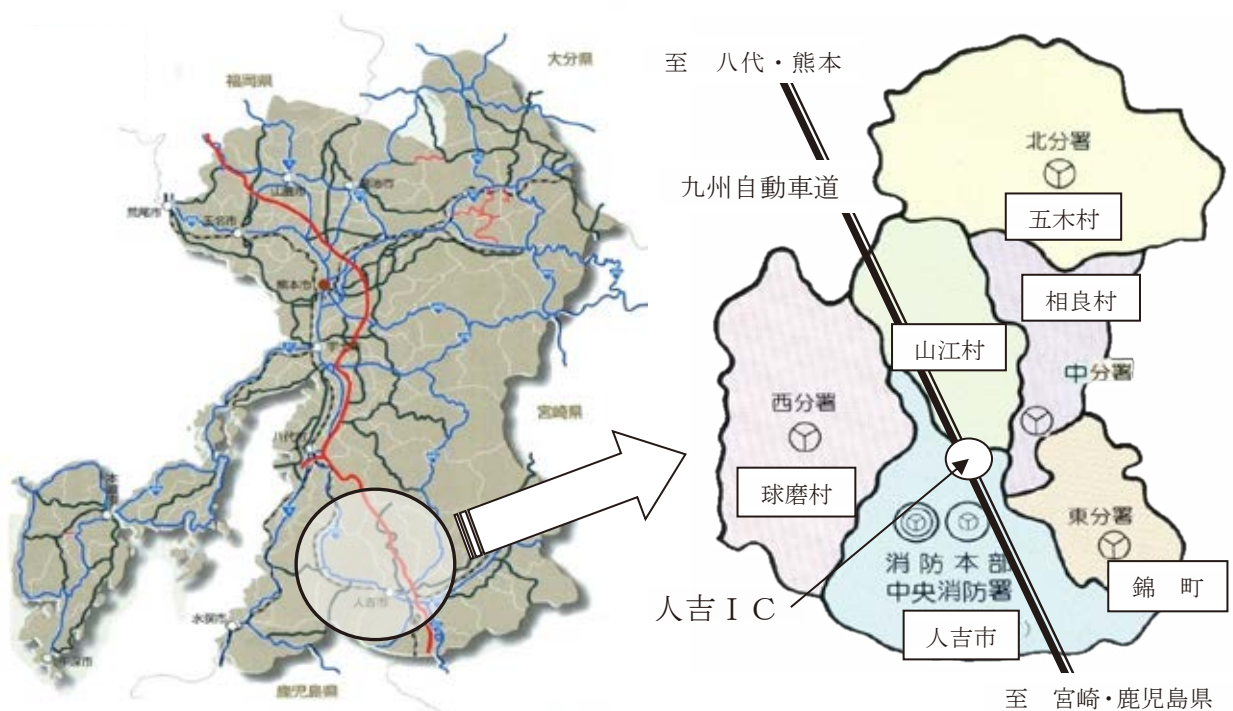


◆ 管内面積・人口及び世帯数

	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (戸)
人吉市	210.55	30,763	15,152
錦 町	85.04	10,278	3,914
相良村	94.54	4,137	1,589
五木村	252.92	1,002	482
山江村	121.19	3,310	1,200
球磨村	207.58	3,117	1,333
計	971.82	52,607	23,670

※ 令和4年4月1日現在

◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地



	所在地	庁舎の構造 及び建築年	延床面積		敷地面積
消防本部 中央消防署	〒868-0083 熊本県人吉市下林町 1 番地	鉄骨・ 鉄筋コンクリート 3 階 (平成元年)	2,908㎡ (1F) (2F) (副塔 3F) (主塔 6F) その他	1,260 1,226 36 189 197	7,240 ㎡
東 分 署	〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 大字一武 1587 番地 17	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 ㎡		1,062 ㎡
西 分 署	〒869-6403 熊本県球磨郡球磨村 大字一勝地甲 77 番地 3	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 ㎡		1,149 ㎡
北 分 署	〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲 2672 番地 80	鉄骨防火 サイディング張 平屋建 (平成 22 年)	270.25 ㎡		1,853.53 ㎡
中 分 署	〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 大字深水 2493 番地 1	鉄筋コンクリート 平屋建 (平成元年)	210.00 ㎡		1,154 ㎡

◆ 構成市町村の概況

ひとよしし

人吉市



〒868-8601
熊本県人吉市
西間下町字永溝
7 番地 1

Tel
0966 (22) 2111

にしきまち

錦 町



〒868-0302
熊本県球磨郡錦町
大字一武 1587 番地

Tel
0966 (38) 1111

さがらむら

相良村



〒868-0094
熊本県球磨郡相良村
大字深水 2500 番地 1

Tel
0966 (35) 0211



青井阿蘇神社と球磨川下り



人吉市は熊本県の最南部に位置しており、南は鹿児島、宮崎の両県に接しています。

九州の小京都と呼ばれ、「球磨川くだり」「人吉温泉」「球磨焼酎」を楽しめる観光地として古くから親しまれ、また近年では、球磨川でのラフティングが大きな人気を集めています。

令和2年7月豪雨により、河川の氾濫により、市内中心部を流れる球磨川流域を中心に約517haが浸水し、住家を中心に4千棟以上の浸水被害が出るなど、甚大な被害となっており、今なお復興の道半ばです。



球磨川沿いのツクシイバラ

錦町は熊本県の南部に位置しており、町内の中心部を国道219号線が東西に横断し、国道と並行して北寄りに約2km隔てて日本三大急流のひとつである「球磨川」が西流しています。初夏になると、球磨川河川敷には町花である『ツクシイバラ』が咲き乱れます。

本町の基幹産業は農業であり、南部の山麓地帯は『梨・桃』、北部の丘陵地帯は『茶』の産地となっており、中央部では球磨川が育んだ肥沃な大地からとれる良質な米が生産されています。



清流川辺川と雨宮の森



相良村は、球磨郡のほぼ中央に位置し、清流「川辺川」が北から南へ貫流する、豊かな自然と古の先人が残してくれた歴史と伝統が息づく山紫水明の農山村です。

県内一の生産量を誇る「茶」等、農林業が主産業であり、「水と緑を活かした潤いある村づくり」に取り組んでいます。

また、緑に包まれ澄んだ流れの川辺川をはじめ、四季折々の豊かな相良村の表情を1年中楽しむことができます。

いつきむら

五木村



〒868-0201
熊本県球磨郡五木村
甲 2672 番地 7

Tel
0966 (37) 2211



カヤックとバンジージャンプ

五木村は、熊本県の南部に位置し、村のほぼ中央を水質日本一の清流「川辺川」が貫流し、四季折々の自然に彩られたのどかな村です。全国的に有名な「五木の子守唄」の発祥の地としても知られています。

近年は観光拠点も整備され、地域資源を活かしたバンジージャンプ・カヤック・ツリークライミング・サイクリング等が楽しめる「アウトドアフロンティア」としても注目されています。

やまえむら

山江村



〒868-0092
熊本県球磨郡山江村
大字山田甲 1356 番地 1

Tel
0966 (23) 3111



山江村特産品の栗とボンネットバスマロン号

のどかな田園風景と緑豊かな山々に囲まれた自然あふれる農山村です。

農地を潤す豊かな山田川と美しく澄んだ清流の万江川を有し、肥沃な土地柄で大変おいしい米、野菜、果樹等が育ちます。

特に、万江川はヤマメや鮎などが生息する九州でも有数の清流であるとともに、盆地特有の気候を利用して良質な栗の栽培に力を入れており、トップブランド化を図っています。

また、相良三十三観音の一つである「合戦峰観音堂」をはじめ、国指定重要文化財「山田大王神社」や産業考古学推薦産業遺産「ボンネットバス」など多くの歴史的資源に恵まれています。

くまむら

球磨村



〒869-6401
熊本県球磨郡球磨村
大字渡丙 1730 番地

Tel
0966 (32) 1111



面積の約9割が山林で覆われた球磨村は美しい自然の宝庫であり、日本三大急流のひとつである清流「球磨川」が東西に流れていて、鮎釣りやラフティングが楽しめます。この球磨川と並走する国道219号には、「エメラルドロード」の愛称がついています。棚田百選の「松谷棚田」と「鬼ノ口棚田」の風景は昔懐かしい風情があります。そして、九州最大の鍾乳洞「球泉洞」は、3億年もの年月をかけて自然がつくり出した芸術作品で、恋愛や縁結びのパワースポット「恋人の聖地」となっています。

◆ 令和3年度主要行事

4月

- 7日 初任科第66期入校式
- 9日 令和3年度熊本県消防長会春季会議（天草市）
第44回熊本県消防職員意見発表会（ 〃 ）
- 27日 消防長会九州支部総会 ※書面会議



初任科第66期入校式

5月

- 7日 管理者会議
- 17日 議会全員協議会、議会臨時会
- 18日～20日 スキューバ・舟艇操舵訓練
- 28日 警防本部運営訓練
- 31日 救命胴衣寄贈式



救命胴衣寄贈式

6月

- 1日 消防本部防災会議
- 4日 第47回熊本県消防救助技術大会（陸上の部） ※中止
- 16日～18日 チェーンソー講習
- 22日～24日 水難救助隊及び救助機動部隊合同訓練
- 30日 城南ブロック消防本部協議会（警防・通信担当課長会）
※web開催



チェーンソー講習

7月

- 1日 管理者会議
- 9日 議会全員協議会
- 9日 救急隊感染防止対策研修会
- 16日 九州地区消防救助技術指導会 ※中止
- 21日 城南ブロック消防本部協議会（予防課長会）
- 28日 城南ブロック消防本部協議会（総務課長会）



救助技術訓練風景

8月

- 2日～4日 水難救助隊予備隊員潜水訓練
- 12日 管理者会議 ※中止
- 24日 議会全員協議会、議会臨時会
- 25日 城南ブロック消防本部潜水訓練 ※中止
- 26日 城南ブロック消防本部協議会（署長会） ※web 開催



水難救助隊予備隊員潜水訓練

9月

- 5日 第33回熊本県消防操法大会 ※中止
- 17日 初任科第66期卒業式
- 21日～22日 重機取扱い訓練
- 28日～30日 水難救助隊及び予備隊員潜水訓練
- 28日～29日 新規防火管理者講習
- 29日～30日 水上バイク取扱い訓練



水上バイク取扱い訓練

10月

- 4日～5日 防火管理者新規講習
- 13日 水上バイク取扱い訓練
- 17日 人吉市総合防災訓練
- 17日 五木村防災ヘリ合同訓練
- 29日 第28回全国消防操法大会 ※中止
- 29日 議会全員協議会、議会臨時会



人吉市総合防災訓練

11月

- 7日 人吉市消防鎮火祭
- 9日～15日 秋季全国火災予防運動
- 9日 管理者会議
- 12日 城南ブロック消防本部協議会消防隊合同訓練（八代市）
- 18日 防災ヘリ・消防本部合同訓練
- 24日 加久藤トンネル総合防災訓練
- 26日 議会全員協議会・令和3年第5回議会定例会
- 29日～12月14日 派遣型救急ワークステーション
- 30日 防火管理者再講習



防災ヘリ・消防本部合同訓練

12月

2日 クセトンネル防災訓練（情報伝達訓練）
 14日～16日 署内救急シミュレーション演習
 18日 金子恭之総務大臣来熊（意見交換会）
 28日 年末警戒



署内救急シミュレーション演習

1月

5日 消防団出初式（五木村） ※中止
 9日 金子恭之総務大臣・総務省消防庁長官表敬訪問
 9日 消防団出初式（山江村）
 ※中止（人吉市・錦町・相良村・球磨村）
 19日 城南ブロック消防本部警防技術錬成訓練 ※中止



金子恭之総務大臣・総務省消防庁長官表敬訪問
 （於：消防本部・中央消防署）

2月

10日 管理者会議
22日～24日 救命索発射銃取扱い訓練
24日 議会全員協議会、令和4年第1回議会定例会



救命索発射銃取扱い訓練

3月

1日～7日 春季全国火災予防運動
14日 第3回警防技術大会 ※中止
17日 城南ブロック消防本部臨時総務課長会



春季全国火災予防運動

◆ 消防の沿革

◇ 消防組合前の沿革

昭和22年	12月	消防組織法制定公布
昭和23年	4月	人吉市役所総務課内に消防係を新設（職員数1名） 水槽付消防ポンプ車購入、職員新規採用1名（職員数2名）
昭和24年	1月	常備消防発足、職員新規採用6名（職員数8名）
昭和26年	1月	消防ポンプ車購入（2号車）、職員新規採用8名（職員数16名）
昭和27年	7月	人吉市消防本部設置、初代消防長 豊永芳太郎 就任（市助役兼務）
昭和28年	6月	消防ポンプ車購入（3号車）
昭和30年	4月	職員新規採用2名（職員数18名）
	9月	第2代消防長 内藤四郎 就任（市助役兼務）
昭和33年	12月	職員新規採用3名（職員数21名）
昭和34年	9月	人吉市消防署設置
	12月	職員新規採用6名（職員数27名）
昭和35年	6月	職員新規採用4名（職員数31名）
	9月	小型動力ポンプ購入
昭和36年	10月	条例改正により定員38名となる
	12月	第3代消防長 久保田槻生 就任（専任消防長）、司令車購入
昭和37年	1月	消防庁舎新築落成（人吉市新町16番地）
	3月	消防無線設置（基地局1・移動局1）
昭和39年	1月	職員欠員補充2名
	3月	消防ポンプ車（ニッサン）日本損害保険協会から寄贈
	4月	職員新規採用1名（職員数32名）
	7月	職員新規採用1名（職員数33名）
昭和40年	9月	救急車（B級）人吉ライオンズクラブから寄贈
昭和42年	12月	職員新規採用5名（職員数38名）、消防ポンプ車更新
昭和43年	4月	職員欠員補充1名
昭和44年	9月	第4代消防長 鳥飼雄吉 就任（市助役兼務）
昭和45年	1月	職員欠員補充2名
	4月	職員欠員補充2名
	11月	水槽付消防ポンプ車（1号車）更新
昭和46年	4月	救急車（A級）日本損害保険協会から寄贈
		職員新規採用3名（職員数41名）
	11月	消防無線狭帯化に伴い無線機を更新
昭和47年	1月	職員新規採用1名（職員数42名）
	9月	消防ポンプ車（3号車）更新
昭和48年	5月	職員欠員補充1名
	10月	救急車（ニッサン）購入

◇ 消防組合の沿革

昭和49年	4月	人吉下球磨消防組合消防本部・中央消防署発足（人吉市から職員42名、消防車5台、救急車2台） 初代消防長 上原 茂 就任
		職員新規採用12名（職員数54名）
	7月	職員新規採用12名（職員数66名） 中央消防署西分署（球磨村）仮庁舎にて業務開始、消防車（球磨村から譲渡）1台・西分署職員数7名 司令車（三菱コルト）一部負担、県消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	中央消防署東分署（錦町）仮庁舎にて業務開始、消防車（錦町から譲渡）1台・東分署職員数7名 中央消防署北分署（五木村）仮庁舎にて業務開始、積載車（五木村から譲渡）1台・北分署職員数7名
	12月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本自動車工業会から寄贈、北分署に配備・救急業務開始
昭和50年	1月	東分署・西分署新庁舎落成、新庁舎にて業務開始
		救急車（ニッサンキャラバン2B）購入、西分署に配備・救急業務開始
	3月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本損害保険協会から寄贈、東分署に配備・救急業務開始
	4月	職員新規採用13名（職員数79名）
	12月	広報車（ニッサングロリア）購入、中央消防署に配備 梯子付消防ポンプ車（モリタ24 ^{リットル} 級）購入、中央消防署に配備
昭和51年	9月	水槽付ポンプ車（モリタ・三菱、水槽1.5 t）2台購入、東分署及び西分署に配備
	10月	消防ポンプ車（日機・トヨタ）日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和52年	4月	第2代消防長 竹本 望 就任
	9月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL1,600cc）2台購入、東分署及び西分署に配備
	11月	消防ポンプ車（モリタ・三菱、水槽1.5 t）購入、北分署に配備
昭和52年	11月	北分署積載車を資機材搬送車に改造し、中央消防署に配備

昭和53年	7月	消防ポンプ車（ニッサン）1台購入、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL 1,600cc）北分署に配備
昭和54年	12月	査察広報車（トヨタマークII GL 1,800cc）消防本部に配備
昭和55年	3月	救急車（ハイエース2B）県農協共済連から寄贈
	12月	救助工作車（日機）1台購入、中央消防署に配備
昭和56年	4月	職員1名採用
	11月	広報車（トヨタマークII 乗用車）購入、消防本部に配備 防火広報車（トヨタ9人乗り）（財）日本防火協会から寄贈
昭和57年	3月	消防本部の組織に関する規則改正、予防係を予防課に昇格
	4月	消防組合消防職員定数条例改正、職員定数85人とする
	6月	消防職員欠員補充1名、新規採用6名（職員数85名）
	9月	救急車（ニッサン2,000cc）日本消防協会から1台寄贈 北分署に配備
	11月	水槽付ポンプ車（ドライケミカル・日野、水槽2 t）中央消防署に配備
昭和58年	11月	人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会設立（15団体、1,250人）
昭和59年	3月	救急車（トヨタ2B）西分署に配備
	9月	第3代消防長 山本澄雄 就任
昭和60年	3月	救急車（トヨタ2B）東分署に配備
	4月	救急車（トヨタ2B）県農協共済連から寄贈
	6月	人員搬送車（ニッサンマイクロバス3,300cc）サンロードから寄贈、中央消防署に配備
	9月	第4代消防長 岩本康資 就任
	11月	消防ポンプ車（日本ドライケミカル・三菱）中央消防署に配備 人吉下球磨幼年消防大会開催（18団体 1,398人）
昭和61年	4月	職員欠員補充2名
昭和62年	1月	指揮車（ハイエースバン2,400cc）中央消防署に配備
昭和62年	8月	救急車（トヨタ2B）日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和63年	4月	職員欠員補充2名
平成元年	4月	職員欠員補充1名 消防庁舎新築移転（人吉市下林町1番地）業務開始 組織機構改正（3課1室） 相良分遣所開設（分遣所職員数8名体制）
	8月	消防緊急情報システム（Ⅱ型）導入
	10月	消防組合消防職員定数条例改正、職員定数91名 職員新規採用6名（職員数91名）
	12月	九州縦貫高速自動車道開通 救急業務開始
平成2年	4月	救急車（トヨタ2B）（有）岩下産業から寄贈 中央消防署に配備 職員欠員補充1名
	11月	第1回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催（毎年開催）
	12月	事務連絡車（ニッサングロリア1,990cc）購入、消防本部に配備
平成3年	1月	査察車（トヨタカローラ1,290cc）購入、消防本部に配備
	3月	救急車（ニッサン2B）安田生命から寄贈、相良分遣所に配備
	4月	水槽付ポンプ車（A-Ⅱ型・日本ドライケミカル三菱）東分署に配備 職員欠員補充1名
	8月	水槽付ポンプ車（吉谷機械製作所・いすゞ1.5 t）日本損害保険協会から寄贈 寄贈車両 西分署に配備
	10月	広報車（ニッサンアベニール1,590cc）購入、東分署に配備
平成4年	11月	職員欠員補充1名
	12月	広報車（ニッサンADワゴン 1,500cc）購入、西分署に配備
平成5年	2月	消防ポンプ車（A-Ⅱ型・いすゞ 3,600cc）北分署に配備
	3月	週40時間制勤務試行（隔日勤務者、8週16休）
	7月	完全週休2日制へ移行
平成6年	3月	高規格救急車（トヨタハイメディック4,000cc）中央消防署に配備
	6月	救急指導車（トヨタ4,000cc）岩下産業から寄贈、中央消防署に配備
	10月	消防組合発足20周年記念式典
平成7年	1月	第5代消防長 高橋昭三 就任
	2月	定数条例改正（91名を103名へ）
	3月	2部制勤務より3部制勤務へ移行 水槽付ポンプ車（A-Ⅱ型・日本ドライケミカル日野1.5 t）相良分遣所へ配備
	4月	組織機構改正（消防本部警防課を廃止し企画情報課に、中央消防署に消防課設置）
	5月	職員新規採用3名（職員数94名） 職員欠員補充1名 中央署予備ポンプ車廃車、管内保育園へ寄贈
	7月	加久藤トンネル防災訓練・九州自動車道人吉～えびの間供用開始 救急車（ニッサン 3,000cc）JA共済連から寄贈、東分署に配備 東分署仮眠室全面改装（ベッド設置）

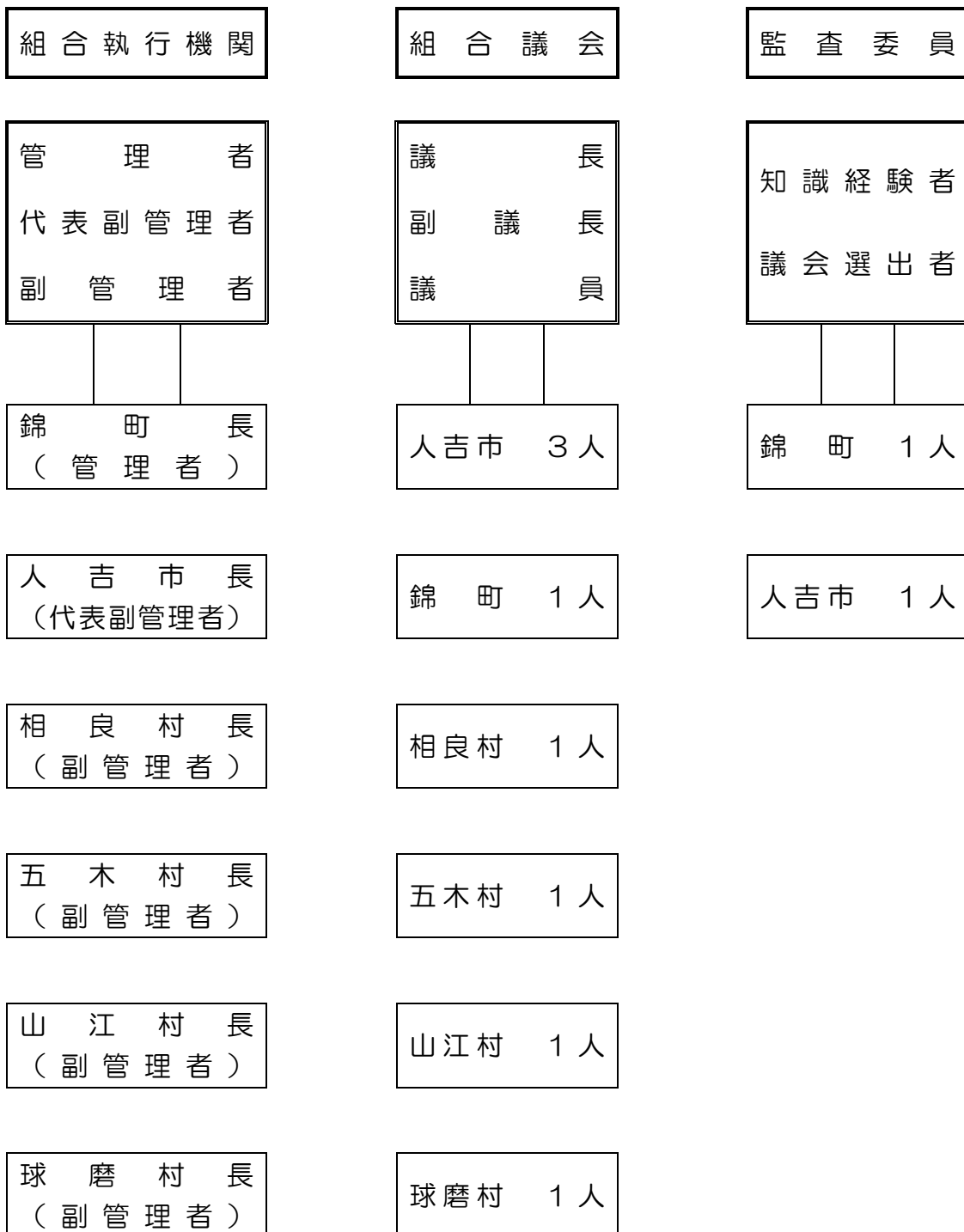
	9月	第1回「救急フェア '95」開催（毎年開催）
	12月	欠員補充1名（職員数94名）
平成8年		事務連絡車（フォード1,800cc）（株）Misumiから寄贈、消防本部に配備
	2月	資機材搬送車（いすゞ 2tロング 4,300cc）中央消防署に配備
	3月	第1回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '96」開催（平成19年第12回まで実施）
	4月	職員新規採用3名（職員数97名） 職員欠員補充3名
	5月	司令車更新（トヨタ 2,000cc）中央消防署に配備
平成9年	11月	西分署事務室及び仮眠室全面改装（ベッド設置）
	2月	職員欠員補充2名（職員数97名）
	3月	化学消防車購入（三菱 8,200cc A-II型 日本造機）中央消防署に配備 北分署救急車更新（トヨタ 3,000cc 2B） 高規格救急車（トヨタハイメディック）（社）日本損害保険協会から寄贈 更新による救急車2台廃車、管内医師会へ寄贈 高規格救急車（トヨタハイメディック）東分署に配備 北分署庁舎新築移転（仮庁舎）
	4月	職員新規採用3名（職員数99名） 熊本県消防学校派遣教官出向1名 東京消防庁杉並消防署と友好協力関係確認書の取り交し
	7月	消防活動二輪車隊「レッドアタッカー」発足（ホンダ車5台）、中央消防署に配備
平成10年	4月	職員欠員補充1名（職員数100名） 職員新規採用3名（職員数103名） 職員欠員補充1名 熊本県消防学校派遣教官出向1名
平成11年	3月	梯子付消防自動車（モリタ30 _補 級）購入、中央消防署に配備
	4月	職員新規採用2名（職員数103名） 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	6月	職員新規採用1名（職員数103名）
	11月	相良分遣所を中分署に昇格
平成12年	12月	水槽車（三菱ザ・グレード 11,140cc）、中央消防署に配備
	1月	職員新規採用1名（職員数103名）
	4月	職員新規採用2名 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	5月	高規格救急車（ニッサンパラメディック）中分署に配備
平成13年	10月	水槽付ポンプ車（三菱ファイター 8,200cc）北分署に配備
	4月	職員新規採用3名（職員数103名） 熊本県消防学校教官出向1名
	9月	熊本県知事救急功労賞表彰授与 救助工作車（日野レンジャー 8,000cc）中央消防署に配備
	11月	消防緊急指令装置（II型）更新 水槽付ポンプ車（日野レンジャー 8,000cc）日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
平成14年	4月	熊本県消防学校教官出向1名
	10月	第5回熊本県下消防大規模災害対応訓練（人吉市）
平成15年	4月	職員新規採用1名（職員数103名） 熊本県消防学校教官出向1名
	6月	職員欠員補充1名（職員数103名）
	9月	高規格救急車（トヨタハイメディック 3,400cc）西分署に配備
平成16年	10月	職員欠員補充1名（職員数102名）
	3月	消防組合発足30周年記念式典
	4月	定数条例改正 105名
	5月	職員新規採用2名（職員数103名）
平成17年	1月	第6代消防長 高澤敏雄 就任 職員新規採用3名（職員数104名）
	4月	定数条例改正 111名 職員新規採用2名（職員数106名） 熊本県防災消防航空隊出向1名
平成18年	4月	職員新規採用3名（職員数108名）
平成19年	1月	防災研修車（ニッサンキャラバン 3,000cc）藤田株式会社から寄贈、消防本部に配備
	4月	第7代消防長 竹田文郎 就任 職員新規採用4名（職員数111名）
	5月	全国消防長会総務委員会（人吉市）
平成20年	4月	第8代消防長 中村俊博 就任 定数条例改正 105名 職員新規採用2名（職員数105名）

		熊本県消防学校派遣教官出向1名
平成21年	6月	事務連絡2号車（スバルブレオ 650cc）退職者から寄贈、消防本部に配備
	9月	人吉下球磨幼年消防クラブ発足25周年式典
	3月	広報車（ニッサンティーダ 1,500cc）消防本部に配備
	4月	第9代消防長 原一幸 就任 職員新規採用3名（職員数105名）
平成22年	7月	職員欠員補充1名（職員数105名）
	2月	中央消防署北分署新庁舎落成式
	4月	第10代消防長 犬童利夫 就任 職員新規採用5名（職員数105名）
	3月	東日本大震災緊急消防援助隊現地派遣1,2次隊 10名（宮城県仙台市若林区、宮城野区）
平成23年	4月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc 2台）東分署及び北分署に配備 第11代消防長 槻木孝至 就任 職員新規採用9名（職員数105名）
		熊本県防災消防航空隊出向1名
	6月	予防査察車（ニッサンティーダ 1,500cc）消防本部に配備
	10月	熊本県消防長会秋季総会（人吉市）
平成24年	4月	第12代消防長 中村憲和 就任 職員新規採用3名（職員数105名）
	2月	資機材搬送車（三菱キャンター 3,000cc）総務省消防庁より無償使用制度を活用し配備
		消防救急デジタル無線（共通波）開局式
	4月	第13代消防長 富田清一 就任 定数条例改正 109名 職員新規採用10名（職員数107名）
平成26年		高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）中央消防署に配備
	4月	職員新規採用4名（職員数107名）
		熊本県消防学校教官出向1名
	5月	人吉下球磨消防組合発足40周年記念式典
平成27年		事務連絡車（スバルインプレッサ 2,000cc）消防本部に配備
	3月	タンク車（日野レンジャー 6,400cc）中央消防署に配備
		消防救急デジタル無線（活動波）開局式
	4月	第14代消防長 中山哲臣 就任 消防救急デジタル無線（活動波）運用開始 定数条例改正 110名 職員新規採用9名（職員数109名）
平成28年	4月	職員新規採用3名（職員数105名） 熊本県防災消防航空隊出向1名 平成28年熊本地震熊本県消防応援協定に基づく消防隊現地派遣 1,2次隊（14名） 救急隊応援出動 1,2次隊（6名）南阿蘇村
		//
	9月	熊本県救急医療功労者知事表彰（北分署救急隊）
	12月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）中分署に配備
平成29年	1月	東分署にタンク車（日野デュトロ 4,000cc）配備
	4月	職員新規採用5名
	7月	九州北部豪雨発生 緊急消防援助隊として第1次隊から第7次隊まで派遣
	9月	熊本県救急医療功労者知事表彰（中分署救急隊）
平成30年	10月	第66回全国消防長会危険物委員会（人吉市）
	1月	タンク車（日野デュトロ 4,000cc CD-1）中分署に配備
		タンク車（日野レンジャー 6,400cc 水1-B）中央消防署に配備
	3月	災害救援車（ニッサンシビルアン）を岩下兄弟株式会社から寄贈、消防本部に配備
	4月	第15代消防長 深江政友 就任 職員消防採用3名（職員数104名） 組織機構改正 予防課（指導係・予防係）を予防課（予防係・危険物係）へ改編 企画教養課、情報管理課を廃止し人事教養課（人事教養係、情報管理係）を新設 通信指令課、救急課を廃止し警防課（警防通信係、救急係）を新設
	6月	職員新規採用4名（職員数108名）
	10月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）西分署に配備
	1月	特殊災害対応はしご付消防自動車（日野 30m級 8,900cc）中央消防署に配備
平成31年	4月	職員新規採用6名（職員数109名）
		熊本県消防学校教官出向1名
	5月	水難救助隊発隊
	6月	指揮2号車（トヨタランドクルーザープラド）中央消防署に配備
令和元年	12月	第一回警防技術大会開催
		指揮1号車（トヨタハイエース）中央消防署に配備
		消防活動用重機（コベルコ SK55SR）中央消防署に配備
	1月	
令和2年	1月	

令和3年	3月	重機搬送車（いすゞ FORWARD 7,790cc）中央消防署に配備	
	4月	組織機構改正 通信情報課（通信係・情報係）を新設 警防課（警防通信係を警防係へ）を改編 職員新規採用1名（職員数109名）	
	6月	職員新規採用1名（職員数110名） 救助機動部隊発隊	
	7月	令和2年7月豪雨 4日未明から昼前にかけて県南地域で激しい雨が降り河川が氾濫し 中央消防署、西分署が浸水 消防車両等計12台を損失 近隣消防相互応援協定に基づく応援要請（上球磨消防、西諸広域消防、伊佐湧水消防） 緊急消防援助隊要請 （熊本市消防局、宮崎県大隊、佐賀県大隊、北九州市消防局、福岡県大隊、山口県大隊） 熊本県消防相互応援協定に基づき出動補完 県下10消防本部	
	12月	予防査察車（ホンダエヌバン）消防本部に配備	※水害補充
		事務連絡車1（ニッサンエクストレイル）消防本部に配備	※ //
		事務連絡車2（ニッサンノート）消防本部に配備	※ //
		事務連絡車3（トヨタシエンタ）消防本部に配備	※ //
	1月	司令車（トヨタエスクァイア）消防本部に配備	※ //
	3月	タンク車（日野デュトロ 4,000cc）北分署に配備	※ //
		指揮2号車（トヨタランドクルーザーブロード）中央消防署に配備	※ //
	4月	第16代消防長 豊永浩 就任 職員新規採用1名（職員数110名）	
	5月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）中分署に配備	
	9月	水難救助用ゴムボート3艇配備 水上バイク（ヤマハ発動機 総トン数：0.2トン）中央消防署に配備	
令和4年	1月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）東分署に配備	
	2月	タンク車（日野デュトロ 4,000cc）西分署に配備	

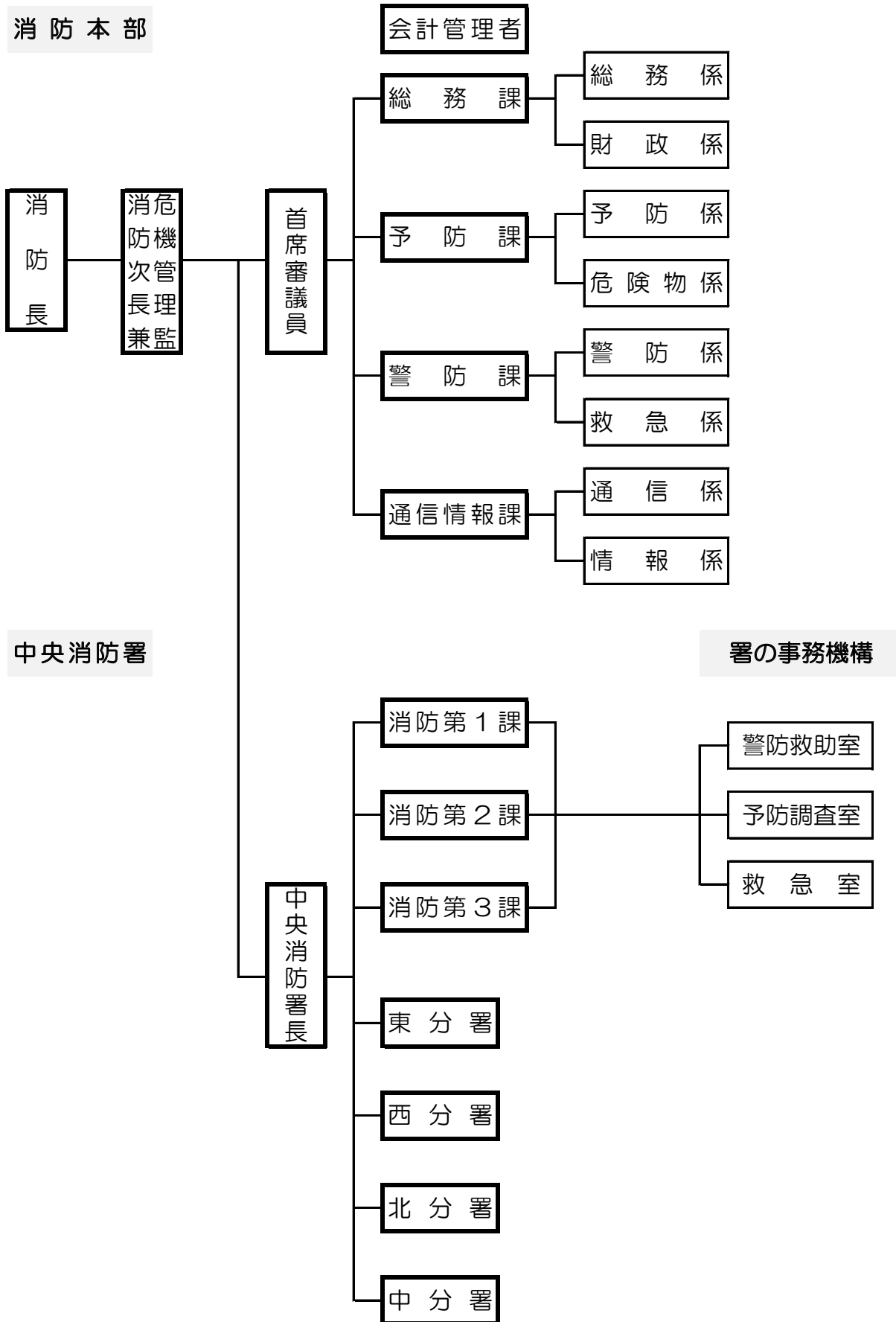
◆ 消防組合の組織

令和4年4月1日



※建制順

◆ 消防本部及び署の組織



◆ 消防本部及び消防署の事務分掌

1 消防本部の事務分掌

総務課	総務係	1 本部及び消防署の組織に関する事。 2 公印に関する事。 3 議会に関する事。 4 文書の収発及び図書に関する事。 5 職員の福利厚生、公務災害及び共済その他保健に関する事。 6 職員の研修、教養及び人材育成に関する事。 7 条例、規則及び規程等の整備に関する事。 8 消防職員委員会、第三者委員会及びコンプライアンス委員会に関する事。 9 情報公開等審査会及び情報公開等判定委員会に関する事。 10 職員の相談窓口に関する事。 11 公告式に関する事。 12 陳情、請願及び投書の処理に関する事。 13 消防長会及び消防協会に関する事。 14 職員（退職者含む。）の表彰に関する事。 15 式典及び儀礼等の企画に関する事。 16 その他総務に関する事。
	財政係	1 監査に関する事。 2 予算、決算に関する事。 3 地方債及び国庫（県）補助に関する事。 4 地方交付税に関する事。 5 財政状況の公表に関する事。 6 財産の取得、処分及び管理に関する事。 7 契約に関する事。 8 組合経費に関する事。 9 給与の計算及び支給に関する事。 10 出納事務に関する事。 11 消防賞じゅつに関する事。 12 庁舎その他消防施設の維持管理及び更新に関する事。 13 物品及び貸与品に関する事。 14 寄附の採納に関する事。 15 職員の定数、配置及び事務に関する事。 16 職員の任免、分限、懲戒、服務、懲罰その他身分に関する事。 17 職員の採用試験及び昇任試験に関する事。 18 職員の人事評価及び人事記録に関する事。 19 その他財政に関する事。

予 防 課	予 防 係	1 防火対象物の立入検査及び措置命令に関すること。 2 防火対象物の防火管理の指導に関すること。 3 建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。 4 防火管理者の講習及び教育指導に関すること。 5 消防用設備等に関すること。 6 家庭防火班の育成指導に関すること。 7 防火思想の普及指導及び広報に関すること。 8 防火委員会に関すること。 9 幼少年、婦人防火クラブ等の育成及び指導に関すること。 10 消防連絡協議会に関すること。 11 防火対象物等の表彰に関すること。
	危 険 物 係	1 予防査察に関すること。 2 危険物の許可、認可、承認及び指導に関すること。 3 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 4 消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 9 条の 3 に係る届出及び液化石油ガスの貯蔵取扱いに係る意見書に関すること。 5 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）に基づく煙火の消費に係る事務に関すること。 6 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和 42 年法律第 149 号）に基づく液化石油ガス設備工事の届出及び立入検査に関すること。 7 危険物施設等の表彰に関すること。 8 その他予防指導に関すること。
警 防 課	警 防 係	1 警防救助業務の事務に関すること。 2 消防相互応援協定に関すること。 3 緊急消防援助隊の応援及び受援の計画に関すること。 4 職員の招集及び出動計画に関すること。 5 職員の安全管理に関すること。 6 職員の教育、研修及び訓練の計画に関すること。 7 消防学校等入校に関すること。 8 職員の資格取得等に関すること。 9 特殊災害の調査及び研究に関すること。 10 消防車両の登録、更新及び検査に関すること。 11 各種災害情報等の収集及び伝達に関すること。 12 消防に係る関係機関との連絡及び調整に関すること。 13 一般住民等の表彰に関すること。 14 その他警防救助業務の事務に関すること。

警 防 課	救 急 係	1 救急業務の事務に関すること。 2 救急隊の運用及び訓練計画に関すること。 3 救急統計に関すること。 4 医療関係機関との連絡調整に関すること。 5 メディカルコントロール協議会に関すること。 6 救急隊員の教育研修及び訓練の計画に関すること。 7 職員の健康診断、抗体検査及びワクチン接種等に関すること。 8 救急医療情報に関すること。 9 その他救急業務に関すること。
	通 信 係	1 災害に係る通信及び指令に関すること。 2 通信に係る関係機関との連絡及び調整に関すること。 3 無線従事者及び通信に係る者の指導及び教育に関すること。 4 各種災害の情報収集、伝達及び広報に関すること。 5 火災警報の発令に関すること。 6 気象情報、災害情報及び救急医療情報の連絡に関すること。 7 その他通信業務に関すること。
通 信 情 報 課	情 報 係	1 通信情報業務の企画立案に関すること。 2 通信設備の運用及び維持管理更新に関すること。 3 通信指令に係る支援情報の管理に関すること。 4 消防緊急情報システムの運用及び管理に関すること。 5 消防統計、消防年報及び広報（ホームページ含む）に関すること。 6 災害に係る情報公開に関すること。 7 個人情報保護に関すること。 8 情報公開に関すること。 9 その他情報管理業務に関すること。

2 消防署の事務分掌

警 防 救 助 室	警 防 救 助 係	1 警防及び救助業務の実施に関する事。 2 消防相互応援協定に基づく出動に関する事。 3 緊急消防援助隊の出動に関する事。 4 救助技術の研究、指導及び訓練に関する事。 5 防災警備に関する事。 6 消防職員、消防団員及び自主防災組織等の訓練指導に関する事。 7 中央署内の庶務に関する事。 8 消防活動上の地理及び水利に関する事。 9 備品管理に係る事務に関する事。 10 消防機械器具の管理及び取扱いに関する事。 11 消防車両の整備、改善及び使用に関する事。 12 庁舎施設の維持管理に関する事。 13 総務課総務係及び財政係の所管する事務の補助に関する事。 14 その他警防及び救助業務の実施に関する事。
予 防 調 査 室	予 防 調 査 係	1 防火対象物の予防査察に関する事。 2 予防関係諸届出の指導に関する事。 3 少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱いの指導に関する事。 4 自衛消防隊の指導及び育成に関する事。 5 火災予防対策に関する事。 6 劇場等の定員規制及び予防警備に関する事。 7 火災の原因及び損害の調査に関する事。 8 火災報告及び火災統計に関する事。 9 罹災証明に関する事。 10 予防課予防係及び危険物係の所管する事務の補助に関する事。 11 その他の予防及び火災調査業務に関する事。
救 急 室	救 急 係	1 救急業務の実施に関する事。 2 救急隊員の教育訓練に関する事。 3 救急隊員の安全管理に関する事。 4 救急技術の調査及び研究に関する事。 5 救急報告及び救急統計に関する事。 6 応急手当の普及に関する事。 7 救急資機材の維持管理に関する事。 8 その他救急業務の実施に関する事。

◆ 職員の配置状況と階級別現員

		総 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 計		110	1 (○)	5 (4)	15 (○)	23 (○)	17 (○)	30 (○)	19 (○)
消防本部	計	27 (4)	1	4 (4)	3	10	4	3	2
	消防長	1	1						
	消防次長	1		1					
	危機管理監	(1)		(1)					
	首席審議員	3		3					
	会計管理者	(1)		(1)					
	総務課	5 (1)		(1)		2	1	2	
	含総務課付	3					1		2
	予防課	4			1	2	1		
	警防課	4			1	2		1	
	通信情報課	6 (1)		(1)	1	4	1		
中央消防署	計	83		1	12	13	13	27	17
	署 長	1		1					
	首席審議員								
	副署長								
	中央署	46			6	8	10	12	10
	東分署	9			2	1	1	4	1
	西分署	9			2	1	1	3	2
	北分署	9			1	2		3	3
	中分署	9			1	1	1	5	1

※ () は兼務

◆ 勤続年数別職員数

区 別	合 計	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	消 防 司令長	消防監
合 計	110	19	30	17	23	15	5	1
平均（年）		2.9	8.4	13.9	21.6	28.9	35.6	39.0
0～1	2	2						
1～2	2	2						
2～3	1	1						
3～4	9	8	1					
4～5	2	2						
5～6	4	4						
6～7	3		3					
7～8	7		7					
8～9	3		3					
9～10	8		8					
10～11	2		2					
11～12	7		5	2				
12～13	5		1	4				
13～14	2			2				
14～15	2			2				
15～16	3			3				
16～17	1			1				
17～18	6			2	4			
18～19	3			1	2			
19～20	1				1			
20～21								
21～22	3				3			
22～23	3				3			
23～24	1				1			
24～25	5				5			
25～26	3				2	1		
26～27	8				2	6		
27～28								
28～29								
29～30	1					1		
30～31								
31～32	1					1		
32～33	6					6		
33～34	1						1	
34～35	2						2	
35～36								
36～37	1						1	
37～38								
38～39								
39～40	1							1
40～41								
41～42	1						1	

◆ 年齢別職員数

区 別	合 計	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	消 防 司令長	消防監
合 計	110	19	30	17	23	15	5	1
平均（年齢）	35.68	23.37	29.33	34.29	41.7	48.47	54.8	58
18	1	1						
19								
20	1	1						
21	2	2						
22	3	3						
23	2	2						
24	5	5						
25	6	2	4					
26	3	1	2					
27	2	1	1					
28	6		6					
29	5	1	4					
30	4		2	2				
31	3		3					
32	5		4	1				
33	5		2	3				
34	5		1	4				
35	5			4	1			
36	2		1		1			
37	1			1				
38	3			1	2			
39	3				3			
40	3				3			
41	2			1	1			
42	4				4			
43	1				1			
44	6				1	5		
45	2				2			
46	2				2			
47								
48	1				1			
49	3				1	2		
50	2					2		
51	4					3	1	
52	3					3		
53	1						1	
54								
55	1						1	
56	1						1	
57								
58	1							1
59	1						1	
60								

◆ 消防予算

【歳 入】

	令和3年度		令和4年度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
分担金及び負担金	1,045,622	95.11	1,041,614	75.92
使用料及び手数料	649	0.06	649	0.05
寄付金	1	0.00	1	0.00
諸収入	6,189	0.56	3,087	0.22
組合債	36,000	3.27	321,600	23.44
国庫支出金	1	0.00	1	0.00
県支出金	5,976	0.54	1	0.00
財産収入	7	0.00	7	0.00
繰入金	964	0.09	1,100	0.08
繰越金	4,000	0.36	4,000	0.29
歳入合計	1,099,409	100	1,372,060	100

【歳 出】

	令和3年度		令和4年度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
人件費	773,236	70.33	774,538	56.45
物件費	69,634	6.33	126,839	9.24
維持補修費	1,000	0.09	0	0.00
扶助費	13,850	1.26	15,305	1.12
補助費等	4,502	0.41	4,019	0.29
普通建設事業費	81,000	7.37	180,743	13.17
災害復旧事業費	0	0.00	128,800	9.39
公債費	154,179	14.02	139,808	10.19
積立金	8	0.00	8	0.00
予備費	2,000	0.18	2,000	0.15
歳出合計	1,099,409	100	1,372,060	100

◆ 職員の教育実施状況

1 消防学校及び消防大学校入校

		昭和53年から平成23年までの合計	平成 (年度)							令和			計
			24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	
熊本県消防学校	初任科	93		3	10	4	9	3	5	4	6	2	139
	初級幹部科	24		2		2		2					30
	警防科	32		2		2				2		1	39
	救助科	58		2	2	2	2	2	1	2		1	72
	予防科	34											34
	危険物科	6				2			2				10
	予防査察科	6			2		2						10
	救急科	105		3	5	5	3	3	4	6	3	5	142
	指導員研修	34	2		2				2			2	42
	火災調査科	28							2	2		1	33
	特殊災害科	8			2				2	1		1	14
	中級幹部科	8			2		2		2	2		1	17
	上級幹部科	4											4
	警防隊員研修									2		1	3
	気管挿管講習	11		2	2	2							17
	計	451	2	14	27	19	18	10	20	21	9	15	606

消防大学校	幹部科	12	1	1	1	1	1	1					18
	警防科	9		1				1					11
	予防科	7	1			1				1			10
	危険物科	1	1				1						3
	救急科	8		1									9
	救助科	3			1							1	5
	火災調査科	2											2
	新任教官科	2		1					1				4
	違反是正特別講習	1			1								2
	計	45	3	4	3	2	2	2	1	1	0	1	64

2 救急救命士資格・気管挿管認定・薬剤投与認定取得状況

		平成3年から平成23年までの合計	平成 (年度)							令和			計
			24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	
救急救命士		17	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	29
気管挿管		15	2	2	2	2	3	3	3	2	1	1	36
薬剤投与		18	2	1	1	2	2	2	3	3	2	1	37
処置拡大2行為						4	2	7	8	6			27

◆ 職員の特殊技能・資格取得状況

階級別 職員数		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
資格別		110	1	5	15	23	17	30	19
	大 型 1 種	93	1	5	15	23	17	29	3
	大 型 特 殊	11		3	4	3		1	
	中 型	4					2	2	
	普 通 1 種	109	1	5	15	23	17	30	18
	自 動 二 輪	61	1	4	14	14	8	13	7
	け ん 引	2			2				
そ の 他 の 免 許 ・ 資 格	特 殊 無 線 技 士	108	1	5	15	23	17	30	17
	アマチュア無線技士	10	1	2	6	1			
	潜 水 士	81	1	5	14	21	16	20	4
	小 型 船 舶 操 縦 士	39	1	4	11	15	5	2	1
	救 助 課 程 修 了 者	40	1	3	10	14	11	1	
	救 急 救 命 士	40	1	1	5	10	7	9	7
	救急標準課程修了者	75	1	5	15	23	15	16	
	応 急 手 当 指 導 員	104	1	5	15	23	17	29	14
	衛生管理者（第1種）	4		1	1	2			
	甲種危険物取扱者	4				2	1	1	
	乙種危険物取扱者	96		4	14	23	17	25	13
	甲種消防設備士	2			1	1			
	乙種消防設備士	30		1	8	16	4	1	
	酸素欠乏危険作業主任者	25		1	6	9	5	4	
	特定化学物質等作業主任者	7				5		2	
	ガ ス 溶 接 士	21			4	7	6	4	
	車両系建設機械（整地）	17		1	3	4	3	4	2
	車両系建設機械（解体）	16			3	4	3	4	2
	クレーン（5t未満含む）	65	1	2	12	18	15	14	3
	玉 掛 技 能 者	53	1	3	8	16	12	12	1
	電 気 工 事 士	7		1	1	3	1		1
	チェーンソー教育	25			3	6	7	9	
	予防技術検定（危険物）	16		1	2	5	5	3	
	予防技術検定（設備）	6				3	2	1	
	予防技術検定（査察）	33		1	6	9	9	7	1
	航 空 特 殊 無 線 技 士	2		1	1				

※ 令和4年4月1日現在

消防活動

◆ 消防用車両配置状況

	車 両 名	車 種 名	型 式	排気量	年式	無線呼出
本部・中央署	救急1号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 6	中央 1
	救急2号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 3	中央 2
	救急3号車	トヨタハイメディック	TC-VCH38S	3,370cc	H 1 5	中央 3
	1号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA 改	6,400cc	H 2 7	中央1 1
	2号車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA 改	7,960cc	H 1 3	
	3号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA 改	6,400cc	H 3 0	中央1 3
	水槽車	三菱ザ・グレート	U-FP418H	11,140cc	H 2	中央1 4
	指揮1号車	トヨタハイエース	CBF-TRH226K	2,690cc	R 1	中央3 1
	指揮2号車	トヨタランドクルーザープラド	3DA-GDJ150W	2,750cc	R 3	中央3 2
	救助工作車	日野レンジャー	KC-GD1JGBA	7,960cc	H 1 0	
	梯子車	日野梯子車専用シャシ	2DG-PR1APJF	8,860cc	H 3 1	中央5 2
	資機材搬送車	三菱キャンター	TKG-FGB70	2,990cc	H 2 5	中央5 3
	赤バイ1号車	ホンダ	MD 31E	250cc	H 9	
	赤バイ2号車	ホンダ	MD 23E	220cc	H 9	
	赤バイ3号車	ホンダ	MD 23E	220cc	H 9	
	赤バイ5号車	ホンダ	MD 23E	220cc	H 9	
	赤バイ6号車	ホンダ	BA-MC 34E	223cc	H 1 5	
	災害救援車	ニッサンシビリアン	ABG-DJW41	4,470cc	H 3 0	
	司令車	トヨタエスクァイア	DAA-ZWR80G	1,790cc	R 1	
	事務連絡1号車	ニッサンエクストレイル	DBA-T32	1,990cc	H 3 0	
	事務連絡2号車	ニッサンノート	DAA-HE12	1,190cc	H 3 0	
	事務連絡3号車	トヨタシエンタ	DBA-NSP170G	1,490cc	H 2 8	
	予防査察車	ホンダエヌバン	HBD-JJ1	650cc	R 1	
	小型搬送車	ダイハツハイゼット	EBD-S510P	650cc	H 2 8	
	重機	コベルコ SK55SR-6E	PSO4012925	2,189cc	R 2	
	重機搬送車	いすゞフォワード	2KG-FVZ60U2	7,790cc	R 2	
東分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	3BF-TRH226S	2,690cc	R 4	人消東 1
	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H 2 9	人消東1 1
	錦町多機能車	ニッサン	LDF-CW8E26	2,480cc	H 3 1	
西分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 3 0	人消西 1
	タンク車	日野デュトロ	2KG-XZU685M	4,000cc	R 4	人消西1 1
	広報車	ニッサンアベニール	R-VEW10 改	1,590cc	H 3	
北分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 3	人消北 1
	タンク車	日野デュトロ	2KG-XZU685M	4,000cc	R 3	人消北1 1
	広報車	ニッサンAD	E-WFNY10 改	1,490cc	H 7	人消北3 1
中分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	3BF-TRH226S	2,690cc	R 3	人消中 1
	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H 3 0	人消中1 1
	広報車	ニッサンAD	GJ-VFY11	1,490cc	H 1 2	人消中3 1

◆ 消防用特殊資機材保有状況

品 名 ・ 規 格		数 量	配 置 部 署				
			中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
救助器具	滑 車	10	10	0	0	0	0
	緩降器	1	1	0	0	0	0
	鍵付きはしご	2	2	0	0	0	0
	三連はしご	5	3	1	0	1	0
	安全マット	5	5	0	0	0	0
	救命索発射銃	2	2	0	0	0	0
	安全帯	27	15	3	3	3	3
	縛 帯	14	12	0	0	1	1
	エバックハーネス	1	1	0	0	0	0
	救助マット	2	2	0	0	0	0
	山岳救助資機材一式	1	1	0	0	0	0
	ロープ登攀器	0	0	0	0	0	0
	バスケットストレッチャー	1	1	0	0	0	0
	スケッドストレッチャー	1	1	0	0	0	0
破壊用具	エンジンカッター	5	1	1	1	1	1
	チェーンソー	7	2	1	1	2	1
	ガス溶断器	1	1	0	0	0	0
	万能斧	21	12	2	3	2	2
	油圧式救助器具	2	2	0	0	0	0
	エアーソー	2	2	0	0	0	0
	エアーカッター	1	1	0	0	0	0
	クリッパー	16	8	2	3	2	1
水難救助用具	ヘルメット	6	6	0	0	0	0
	PFD	6	6	0	0	0	0
	救命胴衣	184	123	15	15	15	16
	スローバック	12	6	1	3	1	1
	救命浮環	15	11	1	1	1	1
	救命ボート	10	9	1	0	0	0
	船外機	5	5	0	0	0	0
	潜水器具一式	10	10	0	0	0	0
測定器	検知管式ガス測定器	3	3	0	0	0	0
	複合ガス測定器	1	1	0	0	0	0
	炭化測定器	3	1	1	1	0	0
	放射温度計	5	1	1	1	1	1
	放射線個人線量計	5	5	0	0	0	0
	中性子線量率計	1	1	0	0	0	0

品 名 ・ 規 格		数 量	配 置 部 署				
			中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
救急用機材	自動式人工呼吸器	6	2	1	1	1	1
	自動心マッサージ器	5	2	0	1	1	1
	電動式吸引器	9	5	1	1	1	1
	陰圧式固定具（全身）	2	0	0	1	1	0
	陰圧式固定具（部分）	6	3	1	1	1	0
	訓練用人形	33	25	2	2	2	2
	自動体外式除細動器	9	5	1	1	1	1
	患者監視装置	7	3	1	1	1	1
	エアーテント（多数傷病者救護所）	1	1	0	0	0	0
	オゾン殺菌脱臭機	4	1	1	0	1	1
その他	空気呼吸器	37	25	3	3	3	3
	投光器	13	8	1	3	0	1
	発電機	12	7	1	1	2	1
	拡声器	16	9	2	2	1	2
	ジェットシューター	18	5	4	3	3	3
	ジェットシューター給水器	2	1	0	0	1	0
	可搬消防ポンプ	7	4	1	1	1	0
	チルホール	2	2	0	0	0	0
	張力計	1	1	0	0	0	0
	耐 電	服	6	0	0	0	0
		手 袋（高圧）	13	7	2	2	0
		手 袋（低圧）	9	9	0	0	0
		長 靴	7	7	0	0	0
	エアーコンプレッサー	5	1	1	1	1	1
	カメラ	14	9	2	1	1	1
	空気充填設備	1	1	0	0	0	0
	暗視カメラ	1	1	0	0	0	0
	消防活動用無人航空機（ドローン）	1	1	0	0	0	0
	林野火災用動力噴霧器	0	0	0	0	0	0
	Ⅱ 貯水槽	2	2	0	0	0	0
	角スコップ	130	24	27	26	26	27
	剣スコップ	145	56	19	19	18	33
	ハンマー	9	7	0	1	0	1
	かけや	6	4	0	0	1	1

◆ 消防水利

市 町 村		人 吉 市	錦 町	相 良 村	五 木 村	山 江 村	球 磨 村	計
種 別								
消 火 栓	基 準 適 合	375	83	55	1	18	43	575
	基 準 適 合 外	176	210	87	20	64	80	637
	小 計	551	293	142	21	82	123	1,212
防 火 水 槽	2 0 m ³ 未 満	10	113	47	4	5	49	228
	2 0 m ³ 以上 4 0 m ³ 未 満	99	17	5	0	11	11	143
	4 0 m ³ 以上 6 0 m ³ 未 満	160	125	87	46	78	28	524
	6 0 m ³ 以上 1 0 0 m ³ 未 満	0	1	2	0	0	1	4
	1 0 0 m ³ 以 上	0	1	1	0	0	1	3
	小 計	269	257	142	50	94	90	902
プ ー ル		16	6	4	3	3	8	40
計		836	556	288	74	179	221	2,154

◆ 救助業務

1 救助の概要

種 別 \ 年 別		平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年
火 災	出場件数		2		1	1
	活動件数		2		0	1
	救助人員		2		0	0
交 通 事 故	出場件数	23	31	25	20	15
	活動件数	14	23	18	13	8
	救助人員	14	38	19	13	8
水 難 事 故	出場件数	3	4		1	3
	活動件数	3	4		1	2
	救助人員	6	19		1	2
風 水 害 等 自 然 災 害	出場件数		1	1	37	1
	活動件数		1	0	29	1
	救助人員		4	0	238	1
機 械 に よ る 事 故	出場件数		1	5	1	1
	活動件数		0	2	1	1
	救助人員		0	2	1	1
建 物 等 に よ る 事 故	出場件数				5	4
	活動件数				3	2
	救助人員				3	2
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出場件数			1	1	
	活動件数			1	1	
	救助人員			1	2	
爆 発 事 故	出場件数					
	活動件数					
	救助人員					
そ の 他 の 事 故	出場件数	11	13	6	9	9
	活動件数	10	6	5	6	5
	救助人員	9	6	5	7	5
総 計	出場件数	37	52	38	75	34
	活動件数	27	36	26	54	20
	救助人員	29	69	27	265	19

2 救助技術大会出場の変遷

平成14年～令和3年

出 場 年	出 場 種 目	九州地区指導会	全 国 大 会	備 考
平成14年	ロープブリッジ救出	2チーム		陸上の部
	水中結索	1チーム	1チーム	水上の部
平成15年	ロープ登はん	1名		陸上の部
	ロープブリッジ救出	2チーム		
	引揚救助	1チーム		
	ほふく救出	1チーム		
	水中結索	2チーム	1チーム	水上の部
	水中検索救助	1チーム	1チーム	
平成16年	ロープ登はん	1名	1名	陸上の部
	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	
	引揚救助	1チーム		
	ほふく救出	1チーム		
	水中結索	2チーム	1チーム	水上の部
	水中検索救助	1チーム		
平成17年	ロープ登はん	1名		陸上の部
	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	
	ほふく救出	1チーム		水上の部
	水中結索	1チーム		
平成18年	水中検索救助	1チーム	1チーム	
	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
	ほふく救出	1チーム	1チーム	
	引揚救助	1チーム		水上の部
平成19年	水中結索	1チーム	1チーム	
	水中検索救助	1チーム		
平成20年	水中結索	2チーム	1チーム	水上の部
	水中検索救助	1チーム	1チーム	
平成21年	ロープブリッジ救出	1チーム		陸上の部
	水中結索	県大会1位通過 全国決定	1チーム	水上の部
平成22年	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
平成23年	東日本大震災により大会中止			
平成24年	引揚救助	1チーム		陸上の部
平成25年	—	—	—	—
平成26年	—	—	—	—
平成27年	基本泳法	県大会2位通過 全国決定	1名	水上の部
平成28年	人命救助	熊本地震により県大会中止 各本部割り当てで全国決定	1チーム	水上の部
平成29年	ロープブリッジ救出	1チーム		陸上の部
平成30年	ロープブリッジ救出	1チーム	台風20号の影響により 全国大会中止	陸上の部
令和元年	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
	ほふく救出	県大会1位通過 全国決定	1チーム	
	基本泳法	県大会1位通過 全国決定	1名	水上の部
令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止			
令和3年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止			

◆ 火災統計

1 原因及び火災種別出火件数

火災種別 原因別	建 物 火 災			林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	爆 発	合 計
	専共併 用同用 住宅	倉庫・畜舎・納屋	工場・学校・飲食店・店舗・その他					
火 入 れ						1		1
放 火			1		1			2
放 火 の 疑 い						2		2
た き 火								
焼 却 火	1					4		5
た ば こ				1				1
火 遊 び								
こ ん ろ			1					1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー								
コ ン セ ント								
ス ト ー ブ	1							1
配 線 器 具					2			2
電 気 機 器	1							1
ボ イ ラ ー								
電 気 装 置			1					1
電灯電話等の配線	1				1	2		4
排 気 管								
風 呂 か ま ど								
そ の 他		1	2		3	2		8
不 明 ・ 調 査 中						1		1
合 計	4	1	5	1	7	12		30

2 火災出場状況

区分 月別	火 災 件 数 (件)						焼 損 棟 数 (棟)						
	計	建 物	林 野	車 両	爆 発	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	住 宅	非 住 宅
H30年(2018)	32	13	1	4		14	25	10		12	3	12	13
H31・R1年(2019)	20	9		4		7	13	4		4	5	6	7
R2年(2020)	27	9	1	4		13	14	5			9	4	5

R3年(2021)	30	10	1	7		12	14	4		3	7	7	7
1 月	4			1		3							
2 月	1	1					1				1		1
3 月	1	1					1			1		1	
4 月	1	1					1				1	1	
5 月	3			3									
6 月	1	1					1				1		1
7 月	2					2							
8 月	4	1		1		2	1				1		1
9 月													
10 月	8	1	1	2		4	1				1	1	
11 月	1	1					1				1	1	
12 月	4	3				1	7	4		2	1	3	4

人 吉 市	15	5		3		7	7	1			6	3	3
錦 町	7	4				3	6	3		2	1	3	4
相 良 村	1		1										
五 木 村	1	1					1			1		1	
山 江 村	1			1									
球 磨 村	5			3		2							

二〇二二年度全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

焼 損 面 積			罹 災 世 帯 数	罹 災 人 員	死 者 数	負 傷 者 数	損（ 千 円 額）
建物（㎡）		林 野 （ a ）					
床	表 面						
783	53	35	12	16	2	5	33,454
327	13		8	12		5	9,756
1,165	252		7	12	1	3	32,037

303	19	33	5	11		4	11,735
							701
							633
	1		1	5			38
						1	1,540
						2	
							31
							230
	1	33	1	3			101
			1	1			141
303	17		2	2		1	8,320

	1		2	4		2	5,049
271	17		2	2		1	5,074
32		33					
	1		1	5			38
						1	1,574

◆ 救急統計

1 救急の概要

区 分 月 別	出場件数	搬送人員	救急事故種別（出場件数）		
			火 災	自然災害	水 難
H30年（2018）	3,040	2,839	17	1	4
H31・R1年（2019）	2,832	2,670	11		1
R2年（2020）	2,755	2,616	9	52	1

R3年（2021）	2,796	2,629	5	1	3
1 月	262	243			
2 月	224	203			
3 月	202	196			
4 月	225	206			1
5 月	195	187		1	
6 月	223	217	1		
7 月	239	228			
8 月	236	220			1
9 月	218	211			1
1 0 月	242	227			
1 1 月	228	209	1		
1 2 月	302	282	3		

人 吉 市	1,738	1,632	3		2
錦 町	468	444	2		1
相 良 村	214	204			
五 木 村	52	45			
山 江 村	131	127			
球 磨 村	172	160		1	
高 速 道 路	21	17			
管 轄 外					

救急事故種別（出場件数）

交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他
203	40	37	448	10	22	1,929	329
185	31	26	440	9	24	1,766	339
135	55	20	446	6	16	1,750	265

136	39	16	429	6	26	1,828	307
15	2	1	43		1	171	29
9	2		40		3	145	25
9	2	1	25		2	141	22
11	2	4	27		3	142	35
8	4		35		3	125	19
11	4	1	28	2	4	147	25
15	8	3	32	1	2	152	26
11	6	1	38		1	157	21
12	3	1	28	1	3	148	21
9	3	2	39		2	159	28
8	1	1	41	1		149	26
18	2	1	53	1	2	192	30

84	22	10	260	5	9	1,063	280
19	5	3	78		12	336	12
6	7	2	33		2	160	4
3	2		6			39	2
7		1	24		2	95	2
4	3		28	1	1	127	7
13						8	

2 曜日別・時間別救急出場件数

事故種別 区分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計		2,796	5	1	3	136	39	16	429	6	26	1,828	307
曜 日	月	446	1			28	3	3	61	1	3	308	38
	火	393	3			16	7	2	51	1	4	259	50
	水	411	1		1	31	8	2	51		4	255	58
	木	406			1	19	11	3	60	1	5	254	52
	金	387				15	6		61		2	258	45
	土	357				12	3	2	65		5	235	35
	日	396		1	1	15	1	4	80	3	3	259	29
時 間 別	0～2	111				1			10		1	88	11
	2～4	79				1			8	1		64	5
	4～6	109				2			10		3	87	7
	6～8	238				11			37	1	1	178	10
	8～ 10	368	1			14	7	1	73		4	229	39
	10～ 12	354	1	1		31	9	2	50	1	2	207	50
	12～ 14	309			1	20	6	4	52		1	185	40
	14～ 16	294			2	16	7	6	39		5	176	43
	16～ 18	262				21	8	1	49		3	147	33
	18～ 20	285	1			12	1	1	50			188	32
	20～ 22	234	1			4	1		33	2	1	174	18
	22～ 24	153	1			3		1	18	1	5	105	19

3 救急事故種別搬送状況

種別 区分		合 計	事 故 種 別											不 搬 送
			火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	
出 場 件 数		2,796	5	1	3	136	39	16	429	6	26	1,828	307	
傷 病 者 搬 送 件 数		2,615	2	0	2	119	37	16	416	6	16	1,737	264	181
搬 送 人 員	男	1,293	2		2	76	31	10	178	4	7	852	131	
	女	1,336				54	6	6	239	3	9	886	133	
	計	2,629	2	0	2	130	37	16	417	7	16	1,738	264	

4 傷病程度別搬送人員

種別 区分		合 計	事 故 種 別										
			火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
死 亡		0											
重 症		199	2		1	6	1		12		5	106	66
中 等 症		1,558			1	47	22	4	248	4	9	1,028	195
軽 症		872				77	14	12	157	3	2	604	3
そ の 他		0											
合 計		2,629	2	0	2	130	37	16	417	7	16	1,738	264

5 救急隊員が行った応急処置件数

事故種別		急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
項 目	対 象 人 員					
	対 象 人 員	1,738	130	417	338	2,623
	止 血	14	5	42	11	72
	固 定	11	85	52	15	163
	人 工 呼 吸	11		2	3	16
	胸 骨 圧 迫					0
	心 肺 蘇 生	54	2	10	4	70
	酸 素 吸 入	373	16	32	94	515
	気 道 確 保	96	3	12	14	125
	(うち経鼻エアウェイ)	4		2		6
	(うち喉頭鏡・鉗子等)					0
	(うちラリングアルチューブ等)	2		2	1	5
	(うち気管挿管チューブ)	1				1
	保 温	734	43	169	101	1,047
	被 覆	13	25	80	15	133
	在 宅 療 法 継 続	5		1		6
	シ ョ ッ ク パ ン ツ					0
	除 細 動	7			1	8
	静 脈 路 確 保	32	2	4	5	43
	(うちC P A 前)	10	1		5	16
	(うちC P A 後)	22	1	4		27
	薬 剤 投 与	23	1	4	2	30
	血 糖 測 定	46	1		1	48
	エ ピ ペ ン 投 与					0
	ブ ド ウ 糖 投 与	8				8
	血 圧 測 定	1,657	122	393	284	2,456
	聴診器(心音・呼吸音)聴取	334	50	36	19	439
	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	1,693	128	407	320	2,548
	心 電 図 モ ニ タ ー	1,272	44	133	126	1,575
	そ の 他 の 応 急 処 置	1,710	128	407	285	2,530
	合 計	8,132	657	1,792	1,306	11,887

6 医療機関別搬送状況

医 療 機 関										その他の場所	合 計
救 急 告 示 医 療 機 関					その他の医療機関						
国・公立	公 的	私 的		小 計	国・公立	公 的	私 的		小 計		
		病 院	診 療 所				病 院	診 療 所			
54	1,730	755		2,539	1		27	62	90		2,629

◆ 通信関係

1 無線設備配置状況

1) デジタル無線

基地局	6局
固定局	3局
陸上移動局	33局 (車載型 20局 / 携帯型 12局 / 卓上型 1局)
無線種別	活動波 1
	活動波 2
	主運用波 7
	統制波 1
	統制波 2
	統制波 3

無線従事者	陸上特殊無線技士108名(航空特殊無線技士2名含) ≪1級陸上(1名)2級陸上(38名)3級陸上(69名)≫
-------	---

消防本部・中央消防署 ひとしょうほんぶ	
固定局 高塚山向け	1mW
陸上移動局	
車載型 10W	9局
卓上型 10W	1局
携帯型 1W	8局

中央消防署東分署 ひとしょうひがし	
陸上移動局	
車載型 10W	2局
携帯型 1W	1局

中央消防署西分署 ひとしょうにし	
陸上移動局	
車載型 10W	2局
携帯型 1W	1局

中央消防署北分署 ひとしょうきた	
陸上移動局	
車載型 10W	3局
携帯型 1W	1局

中央消防署中分署 ひとしょうなか	
陸上移動局	
車載型 10W	2局
携帯型 1W	1局

高塚山 ひとしょうたかつかやま	
基地局	10W
固定局 本部向け	1mW
固定局 八原向け	200mW

八原 ひとしょうやつはる	
基地局	10W
固定局 高塚山向け	200mW

球磨村役場 ひとしょうくまむらやくば	
基地局	10W

一般国道トンネル しょうぼう きゅうしちとんねる	
基地局	20W

高速道路トンネル ひとしょうひごとんねる	
基地局	20W
ひとしょうかくとう	
基地局	10W

2) アナログ無線 陸上移動局(携帯型 署活系無線機 1W) 5局

3) 業務用IP無線 25局(車載型 1局 携帯型 23局 卓上型 1局)

2 通報統計

(1) 時間別着信状況

種別 時間	火災	救急	救助	その他 出動	試験	間違い	その他	いた ずら	問合せ	通報 訓練	計
0	1	51	0	2	0	1	2	0	1	0	58
1	0	58	0	1	0	1	5	0	2	0	67
2	0	36	0	1	0	1	4	0	0	0	42
3	0	37	0	0	0	1	11	0	1	0	50
4	0	39	0	0	0	0	6	0	5	0	50
5	3	56	0	0	0	2	1	0	1	0	63
6	1	98	1	0	2	5	11	0	4	0	122
7	0	113	1	0	0	1	14	0	7	0	136
8	4	155	0	2	8	5	10	0	4	24	212
9	3	172	1	1	23	8	16	2	5	62	293
10	1	156	4	0	31	13	19	0	1	98	323
11	7	167	0	2	25	11	14	1	11	12	250
12	0	150	2	0	6	6	15	0	6	8	193
13	3	133	3	1	35	10	19	0	3	21	228
14	2	132	4	1	45	4	22	0	3	58	271
15	0	134	2	0	15	5	18	0	5	23	202
16	6	123	1	1	21	3	20	1	1	19	196
17	6	115	1	0	5	7	16	0	6	14	170
18	9	144	3	2	4	9	25	0	1	7	204
19	0	118	0	1	2	5	21	0	9	10	166
20	0	112	0	1	5	9	7	0	2	1	137
21	0	98	1	0	2	10	13	2	3	1	130
22	3	71	0	0	0	6	14	0	2	0	96
23	0	63	0	1	0	4	6	0	2	0	76
計	49	2,531	24	17	229	127	309	6	85	358	3,735

(2) 月別119着信状況

種別 月別	火災	救急	救助	その他 出動	試験	間違い	その他	いた ずら	問合せ	通報 訓練	計
1	7	238	2	2	13	7	28	0	7	17	321
2	4	196	1	2	18	8	29	0	6	22	286
3	1	186	0	2	28	12	27	2	3	40	301
4	0	202	3	2	19	11	24	0	2	14	277
5	3	186	0	0	11	13	27	0	5	41	286
6	0	199	4	3	16	5	22	0	4	26	279
7	5	219	3	1	25	12	25	0	9	19	318
8	4	210	3	1	4	11	36	1	6	15	291
9	0	198	4	1	28	12	30	2	7	18	300
10	10	225	1	1	20	11	21	0	10	46	345
11	2	202	0	0	18	12	21	0	11	66	332
12	13	270	3	2	29	13	19	1	15	34	399
計	49	2,531	24	17	229	127	309	6	85	358	3,735

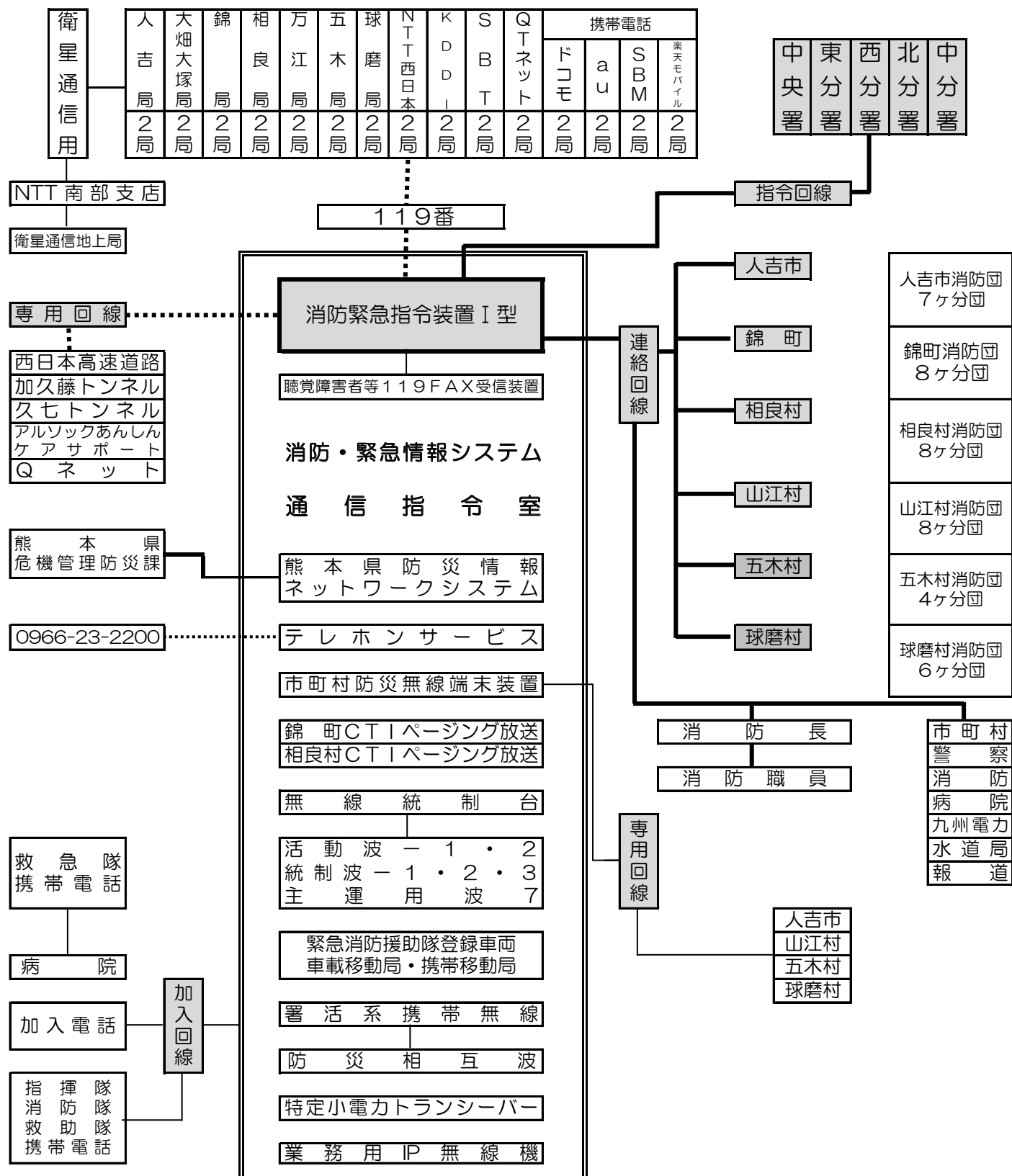
3 気象情報

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温(℃)	20.0	22.3	26.8	28.2	32.4	34.3	36.7	36.1	33.5	32.3	24.1	17.8
最低気温(℃)	-4.7	-2.8	-0.2	4.2	5.1	13.3	19.9	20.4	17.0	6.1	-0.1	-4.7
平均気温(℃)	5.5	8.5	13.0	15.4	19.2	23.0	26.2	26.2	24.8	19.0	10.8	6.0
年間平均気温 16.5 ℃ 年間最高気温 36.7 ℃ 年間最低気温 -4.7 ℃												
平均風速(%)	1.4	1.9	1.5	1.8	1.3	1.1	1.4	1.1	1.1	1.0	0.8	1.5
最大風速(%)	19.1	20.1	15.3	17.2	18.0	11.9	18.7	19.8	15.2	12.4	14.4	20.3
同 上 風 向	西北西	西北西	東南東	西北西	北西	東南東	東南東	西北西	西北西	北西	西北西	北西
年間平均風速 1.3 % 最大風速 20.3 %												
降 水 量 (mm)	28.5	63.0	122.5	92.0	705.0	152.0	295.5	911.0	165.0	25.0	122.0	49.0
年間降水量 2730.5 mm 月最大降水量 8月 911.0 mm												
平均湿度(%)	86.5	82.4	84.4	76.8	86.7	86.5	86.6	89.5	87.9	84.6	91.2	86.7
年間平均湿度 85.8 %												

4 通信指令施設概要

項目	番号	品 名	数量	単位	備 考
通信指令システム	1	指令台	2	台	
	2	自動出動指定装置	2	台	24型カラー液晶ディスプレイ
	3	地図等検索装置	2	台	24型カラー液晶ディスプレイ
	4	長時間録音装置	1	台	多チャンネル型、HDD及びBlu-rayバックアップ
	5	非常用受付設備	5	式	INS119番受付装置
	6	指令制御装置	1	式	
	7	119補助受付電話機	2	式	
	8	署所端末装置	5	台	中央(1)・東(1)・西(1)・北(1)・中(1)
	9	拡張台	2	台	
	10	多目的情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ 表示盤制御端末含む
	11	支援情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
	12	車両運用表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
	13	無線統制台	1	台	活動波・主運用波・統制波
	14	指令伝送装置	5	式	デスクトップパソコン（地図検索機能）
	15	気象情報収集装置	1	式	
	16	音声合成装置	1	式	
	17	システム監視装置	1	式	
	18	電源装置	1	式	無停電電源装置、耐雷トランス含む
	19	総合型位置情報通知設備	1	式	
	20	支援情報システム	1	式	
	21	119FAX受信装置	1	式	
	22	ネットワーク装置	1	式	
無線装置	23	無線回線制御装置	1	式	
	24	管理監視制御卓	1	式	
	25	遠隔制御器	3	台	LANタイプ：卓上型
	26	基地局無線装置	3	式	送受信機増設ユニット含む
	27	7.5GHz帯多重無線装置	2	式	簡易型
	28	直流電源装置	3	台	蓄電池
その他	29	防犯カメラ	4	台	50インチモニター、32インチモニター
	30	市町村防災無線装置	4	台	端末装置
	31	熊本県防災情報NWシステム	1	台	

消防通信系統図



署 所	一般加入電話
消防本部・中央署（人吉市）	0966-22-5241
ダイヤルイン受付	0966-22-5469（内線）
中央消防署東分署（錦町）	0966-38-0119
中央消防署西分署（球磨村）	0966-32-0119
中央消防署北分署（五木村）	0966-37-2119

予防業務

◆ 防火対象物現況

対 象 物 等 令 別 表 項 目 別			防火対象物数 150㎡以上 (17項を除く)	防 火 管 理 者		点検が必要 な 防火対象物
				必要な 施設数	届出数	
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1	1	1
	ロ	公会堂又は集会場	37	31	22	37
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	1	0	0	1
	ロ	遊戯場又はダンスホール	7	6	6	8
	ハ	風俗営業店等	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ店等	2	2	2	3
3	イ	待合・料理店の類	0	0	0	0
	ロ	飲食店	63	46	38	180
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	121	68	61	121
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	39	14	14	55
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	418	34	7	417
6	イ	病院・診療所・助産所	64	28	26	64
	ロ	老人・児童福祉施設等で介護程度の 重いものが入所する施設	36	26	25	37
	ハ	上記以外の福祉施設及び保育所等	96	44	44	98
	ニ	幼稚園・盲・聾・養護学校	3	3	3	3
7		小・中・高等学校・大学・各種学校の類	115	29	29	104
8		図書館・博物館・美術館	14	3	3	8
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	10	5	4	10
10		車両の停車場・船舶・航空機発着場	3	1	1	1
11		神社・寺院・教会の類	42	30	20	26
12	イ	工場・作業場	342	17	17	339
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	30	0	0	30
	ロ	飛行機・回転翼・航空機の格納庫	0	0	0	0
14		倉庫	200	0	0	196
15		前各項に該当しない事業場	560	47	42	395
16	イ	令別表(1)～(5)イ・(6)・(9)イの用途 に供する部分のある複合用途対象物	254	101	91	222
	ロ	イ以外の複合用途対象物	140	6	5	84
17		文化財・重要文化財	21	1	1	21
合 計			2,620	545	465	2,462

◆ 管内中高層建築物現況

区分 令別表項目別		3階	4階	5階	6階	7階以上	合計
合計		302	77	32	8	17	436
市町村別	人吉市	272	74	32	8	17	403
	錦町	18	2				20
	相良村	5	1				6
	五木村	4					4
	山江村						0
	球磨村	3					3

◆ 消防法令に基づく各種届出

令和3年度中

種 別 \ 月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消防計画届出書	29	14	4	14	13	12	11	12	8	11	2	10	140
防火管理者選解任届出書	11	4	4	12	10	6	9	10	6	6	2	8	88
消防用設備等着工届出書	6	4	2	3	4	4	3	5	2	3	8	4	48
消防用設備等設置届出書	9	5	2	5	7	10	3	8	5	2	7	9	72
消防用設備等点検結果報告書	70	23	59	50	59	66	70	52	41	59	39	52	640
防火対象物使用開始届出書	5	2	1	2	2	2	3	2	3	2	5	4	33
消防訓練実施計画報告書	23	33	21	9	13	29	56	63	21	11	22	47	348
消防訓練実施結果報告書	16	28	26	15	10	17	44	59	38	9	11	44	317
煙火打ち上げ・仕掛報告書	1	13	1	1	3	14	2	4	2	0	0	0	41
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出書	3	5	4	4	7	2	4	4	2	5	1	1	42
炉・かまど・ボイラー乾燥設備設置届出書	5	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	10
発電・変電・蓄電池設置届出書	5	8	3	3	3	1	1	6	2	3	7	4	46
禁止行為の認解除承認	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
露店等の開設届出書	1	0	2	0	0	0	0	2	1	1	0	3	10
圧縮アセチレンガス等貯蔵届出書	1	1	1	2	1	5	2	1	0	1	10	2	27
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する行為	24	15	22	12	15	29	45	41	59	39	63	32	396
計	210	155	152	133	148	197	253	269	191	154	177	221	2,260

◆ 防火管理者講習会実施状況

各年中

年 度	実 施 月 日	受講者数	年 度	実 施 月 日	受講者数
平成24年度	9月20日～21日	68	平成30年度	9月27日～28日	55
平成25年度	9月19日～20日	55	令和元年度	9月26日～27日	51
平成26年度	9月25日～26日	59	令和2年度	10月13日～14日	33
平成27年度	9月17日～18日	56		11月19日～20日	24
平成28年度	10月6日～7日	72	令和3年度	9月28日～29日	30
平成29年度	9月28日～29日	63		10月4日～5日	29

◆ 建築物の同意件数

令和3年度中

月 別 市町村別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
人 吉 市	9	11	11	5	6	6	7	12	18	7	10	9	111
錦 町						1			2		1		4
相 良 村	1				1	1			1				4
五 木 村				1									1
山 江 村													0
球 磨 村					1	2							3
合 計	10	11	11	6	8	10	7	12	21	7	11	9	123
新 築	8	10	8	5	7	8	6	11	19	7	11	8	108
増 築	2	1	1	1	1	2	1		2			1	12
改 築			2										2
用 途 変 更													0
そ の 他								1					1

◆ 危険物施設・規制事務状況

令和3年度中

施設区分 区 分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
			貯屋 蔵 所内	タ屋 ン ク外	タ屋 ン ク内	タ地 ン ク下	タ簡 ン ク易	タ移 ン ク動	貯屋 蔵 所外	取給 扱 所油	販第一 売種	販第二 売種	取一 扱 所般	
市 町 村	人 吉 市	1	13	17		33		13	3	20	1		24	125
	錦 町		4	4	1	8	1	3		12			13	46
	相 良 村			3		3		4		7			1	18
	五 木 村		2					2		2				6
	山 江 村					2				2				4
	球 磨 村			1		1		1		3				6
合 計		1	19	25	1	47	1	23	3	46	1	0	38	205
規 制 事 務	設 置 許 可					2		3		1			1	7
	変 更 許 可					2		3		12			19	36
	水 圧 (水 張) 検 査													0
	完 成 検 査					5		6		11			21	43
	仮使用承認									10			18	28
	廃 止 届		1	4	1	4		2		4				16
合 計		0	1	4	1	13	0	14	0	38	0	0	59	130

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
届 出 認 可 等	20	7	10	8	3	5	10	9	7	5	5	9	98

消 防 団

幼少年消防クラブ

◆ 消防団の組織及び現有勢力

		人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
分 団 数		7	8	8	4	8	6	41
積 載 車		24	25	20	6	9	16	100
小 型 ポ ン プ		25	25	20	6	7	11	94
人 員	定 員	559	350	350	130	200	274	1,863
	実 員	421	350	281	86	141	195	1,474
	団 長	1	1	1	1	1	1	6
	副 団 長	2	2	2	1	2	2	11
	方 面 隊 長	5						5
	分 団 長	7	8	8	4	8	6	41
	副 分 団 長	7			2	8	6	23
	部 長	22	18	18	4	9	20	91
	班 長	88	21	51	26	31	43	260
	団 員	289	300	201	48	82	117	1,037

◆ 年齢別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
20 歳未満	5			1		1	7
20 歳以上 30 歳未満	77	71	45	13	26	32	264
30 歳以上 40 歳未満	134	147	77	28	68	65	519
40 歳以上 50 歳未満	131	84	91	25	43	81	455
50 歳以上 60 歳未満	34	36	38	12	2	14	136
60 歳以上 70 歳未満	26	12	30	7	2	2	79
70 歳以上	14						14
合 計	421	350	281	86	141	195	1,474

◆ 在職年数別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
5 年未満	68	55	60	14	22	33	252
5 年以上 10 年未満	91	79	74	16	33	41	334
10 年以上 15 年未満	78	81	36	13	28	45	281
15 年以上 20 年未満	97	86	44	7	30	24	288
20 年以上 25 年未満	61	32	36	9	18	32	188
25 年以上 30 年未満	19	11	24	16	7	16	93
30 年以上	7	6	7	11	3	4	38
合 計	421	350	281	86	141	195	1,474

◆ 幼年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	中原こども園幼年消防クラブ	昭和51年7月15日	27名
	泉田こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月8日	20名
	アヴニール・おこばこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月11日	22名
	蓬萊保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月13日	17名
	人吉こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月15日	22名
	善隣保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月18日	15名
	林保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月19日	16名
	認定こども園さざなみ保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月20日	17名
	あいだこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月21日	22名
	こばと保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月23日	20名
	せん月保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月28日	8名
	人吉乳児保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	13名
錦 町	福島保育園幼年消防クラブ	昭和58年5月1日	39名
	サン保育園幼年消防クラブ	平成6年2月15日	24名
	一武こども園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	26名
	木上ひかり保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	21名
	西保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	18名
相良村	なつめ保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月13日	11名
	暁保育園幼年消防クラブ	昭和59年2月24日	11名
	四浦保育所あざみ園幼年消防クラブ	平成9年3月12日	9名
山江村	山江保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	13名
	章鹿倉保育園幼年消防クラブ	平成8年2月10日	15名
球磨村	こがね保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月28日	14名
五木村	いつき保育園幼年消防クラブ	昭和63年7月28日	9名
計 24クラブ			429名

◆ 保育園防火クラブの現況

市町村名	クラブ保育園（所）名	結成年月日	員数
人吉市	泉田こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	20名
	アヴニール・おこばこども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名
	人吉こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	3名
	こばと保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名
	せん月保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	8名
	人吉乳児保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	13名
	善隣保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	15名
	林保育園防火クラブ	平成13年 4月 1日	10名
	認定こども園さざなみ保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名
	中原こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	4名
	あいだこども園防火クラブ	平成21年 4月 1日	22名
錦町	福島保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	35名
球磨村	こがね保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	14名
相良村	なつめ保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	11名
	四浦保育所あざみ園防火クラブ	平成12年 7月 1日	4名
山江村	章鹿倉保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	15名
計 16クラブ			211名

◆ 少年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	西瀬少年消防クラブ	平成28年 7月 3日	16名
計 1クラブ			16名

全国統一防火標語

令和4年度 『お出かけは マスク戸締り 火の用心』

過去の全国統一防火標語

昭和41年度 火の始末 人に頼むな 任せるな	平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにしたその火
昭和42年度 さあねよう アッの前に 火の点検	平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで
昭和43年度 あなたは 火事の恐ろしさを 知らない	平成13年度 たしかめて。火を消してから 次のこと
昭和44年度 今捨てたタバコの温度が700度	平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに
昭和45年度 防火三百六十五日	平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ
昭和46年度 いま、燃えようとしている火がある	平成16年度 火は消した？いつも心に きいてみて
昭和47年度 慣れた火に 新たな注意	平成17年度 あなたです 火のあるくらしの 見張り役
昭和48年度 隣にも 声かけあって	平成18年度 消さないで あなたの心の 注意の火
昭和49年度 生活の 一部にしよう 火の点検	平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を
昭和50年度 幸せを 明日につなぐ 火の始末	平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする
昭和51年度 火災は人災 防ぐはあなた！	平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 にらめっこ
昭和52年度 使う火を 消すまで離すな 目と心	平成22年度 「消したかな」あなたを守る 合言葉
昭和53年度 それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心	平成23年度 消したはず 決めつけないで もう一度
昭和54年度 これくらいと 思う油断を 火が狙う	平成24年度 消すまでは 出ない行かない 離れない
昭和55年度 あなたです！火事を出すのも 防ぐのも	平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま
昭和56年度 毎日が 防火デーです ぼくの家	平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心	平成27年度 無防備は 心に火災が かくれんぼ
昭和58年度 点検は 防火のはじまり しめくくり	平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で
昭和59年度 “あとで” より “いま” が大切火の始末	平成29年度 火の用心 ことばを形に 習慣に
昭和60年度 怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」	平成30年度 忘れてない？サイフにスマホに 火の用心
昭和61年度 防火の大役あなたが主役	令和 元年度 ひとりずつ いいね！で確認 火の用心
昭和62年度 消えたかな！気になるあの火 もう一度	令和 2年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル
昭和63年度 その火 その時 すぐ始末！	令和 3年度 おうち時間 家族で点検 火の始末
平成 元年度 おとなりに あげる安心 火の始末	
平成 2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心	
平成 3年度 毎日が 火の元警報 発令中	
平成 4年度 点検を 重ねて築く “火災ゼロ”	
平成 5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事	
平成 6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心	
平成 7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心	
平成 8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ	
平成 9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火	
平成10年度 気をつけて はじめはすべて 小さな火	

消防本部位置図



編集発行 人吉下球磨消防組合 通信情報課

〒868-0083 熊本県人吉市下林町1番地

TEL : (0966) 22-5241

FAX : (0966) 22-5240

MAIL : shirei@fire119-hitosho.com

ホームページ : <http://www.fire119-hitosho.com/>